

《 講座の内容 》

第1部 放射線の線量値とそのリスクを知る

瀬川 嘉之

医療被ばく記録手帳には「いつ、どこで、何の検査で、どれくらい線量をあびたか」を記録します。その中で、mSvあるいはmGyといった単位で表される数値が何を意味するのか、そのリスクはどれほどのものなのか、「検査には結核やがんなどを発見できる利益（ベネフィット）がある」と言いますが、それは放射線のリスクと比べてどれほどなのかを知っておくと、手帳を持つ意義が一段と増します。

第2部 放射線被ばくはなぜがんの原因になるのか

崎山 比早子

「検査に使う放射線の量は少ないので心配いりません」とよく言われますが、それは本当でしょうか？ 放射線は人体にどのように作用し、それがどのように発がんに結びつくのでしょうか。放射線の性質とエネルギー、化学結合のエネルギーと比較しながら、DNAの放射線による障害、その修復から突然変異、発がんの経緯を考えます。

第3部 「医療被ばく記録手帳」を使ってみて

実際に「医療被ばく記録手帳」を使っていた、モニターの方に、被ばく線量を聞いたときの医師や技師などの対応、被ばくへの関心度、線量を知っていたかどうか等の経験をお話しいただきます。そして、手帳をよりよく活用するためにはどうしたらいいか参加者の皆さんをまじえて考えます。

-----参加申込書（FAXは切り取らずにそのまま送信下さい）-----

FAX送信先 03 - 5330 - 9530

高木学校第9回市民講座に参加申し込みします。（ 月 日）

氏名1（ _____ 一般 学生

代表者連絡先 住所： _____

TEL： _____ FAX： _____ E-mail： _____

氏名2（ _____ 一般 学生

氏名3（ _____ 一般 学生

氏名4（ _____ 一般 学生

通信欄